

第五圖表解説

1. Q_1 曲線ハ模型用水量測定、爲給水口水路ニ設備シタル縮端堰ノ流量ヲ示ス
2. Q_2 曲線ハ模型水勢調整槽、溢流堰ノ流量及水深ヲ示ス
3. (1)(2) 平均流速曲線ハ模型給水鉄管内流量ヲ滿流スルモト見做シ場合、平均流速ヲ示ス
4. (1) 曲線ハ第二曲線上方直線部、鉄管ニ取付ケタルピトチューブ測定、結果ヨリ得タル流速○印ノ平均ヲ結ブ曲線ニシテ(1)(2) 平均流速曲線ト对照シテ水流ノ動向判断ニ供ス
5. (2) 曲線ハ第二曲線下方直線部、鉄管ニ取付ケタルピトチューブ測定、結果ヨリ得タル流速○印ノ平均ヲ結ブ曲線ニシテ(1)(2) 平均流速曲線ト对照シテ水流ノ動向判断ニ供ス
6. (3)(4)(5) 平均流速曲線ハ水平分岐水路断面ニテ流量ヲ除シタル平均流速ヲ示ス
7. (3) 曲線ハ鉄管放射空前、漸擴水路中心ニ取付ケタルピトチューブ測定、結果ヨリ得タル流速○印ノ平均ヲ結ブ曲線ニシテ(3) 平均流速曲線ト对照シテ水流ノ動向判断ニ供ス
8. (4) 曲線ハ水平分岐水路左側中心ニ取付ケタルピトチューブ測定、結果ヨリ得タル流速×印ノ平均ヲ結ブ曲線ニシテ(4)(5) 平均流速曲線ト对照シテ水流ノ動向判断ニ供ス
9. (5) 曲線ハ水平分岐水路右側中心ニ取付ケタルピトチューブ測定、結果ヨリ得タル流速○印ノ平均ヲ結ブ曲線ニシテ(4)(5) 平均流速曲線ト对照シテ水流ノ動向判断ニ供ス
10. 流速曲線ハ流量ヲ堰水頭即チ堅目處リニ採リ流速ヲ横目盛ニトル

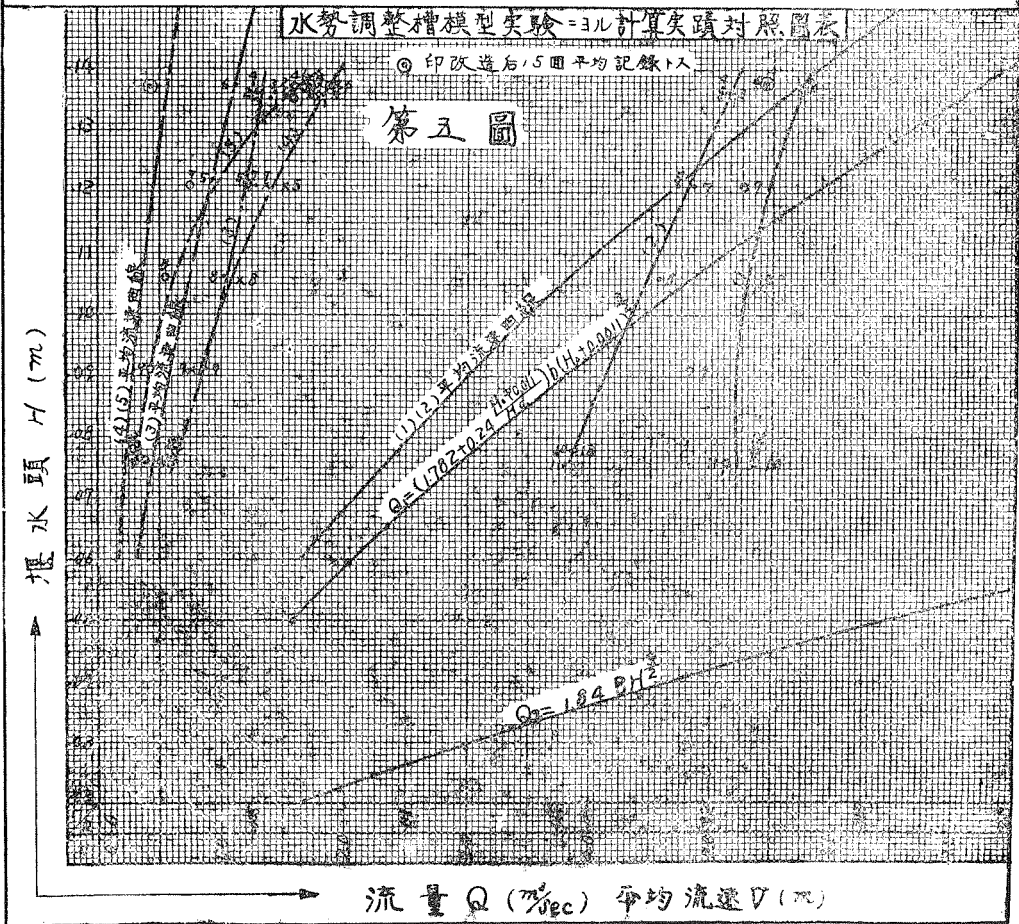


圖 5. 圖表解説。

第六圖表解説

本圖表ハ前試験ノ結果ニ基キ模型ノ一部ヲ改造シ垂直円筒水路上部ニスクリーンヲ取付テ溢流堰高0.050ヲ0.100トシタル後ピトーチューブヲ改造シテ寧ラ各部ノ静水頭及溢流水深ヲ測定シ以テ本構造ニ於ケル流水ノ撃衝ニヨル水理関係ノ動向ヲ判断セントスルモノニシテ測定ノ結果ハ次通リトス。

1. 導水鉄管ピトーチューブ取付位置(1)(2)ニ於テハ静水頭存在セズ管口外氣ヲ吸ヒ込ム傾向アリ
2. 放射室前漸拡水路ピトーチューブ取付位置(3)ニ於ケル静水頭ハ圖示ノ通シテ水量増加ト共ニ増大ス但シ水量少ナル部分ニ至リ水槽水位ヨリ下降シタルピトーチューブ構造ニヨル損失水頭ノ影響ト見做シ得可ク從ツテコノ損失水頭ニ對スル更正ヲ要スルモト認メラル。
3. 調整槽溢流水頭ハ鋭縁縮端堰ノ流量公式ニヨル曲線ト畧一致ス即チ改造後ノ溢流頂ハ鉄板ヲ用ヒ鋭縁堰ノ條件ヲ満シタルニ依ル
4. 結論 以上実験ノ結果ニ明ナルガ如ク射水ノ撃衝ニヨル動圧力及反カハ微量ニシテ急擴水路ニ於ケル衝力理論ニ從ヒ差違ニ相当スルダケノ水頭ノ増加即チ $h = (1 - \frac{v_1}{v_2})^2 \frac{v_1^2}{2g}$ トシテ取扱フヲ要ト認メラル 参考ノタメ前式中 $(1 - \frac{v_1}{v_2})^2$ 之ニ実験値ヲ挿入シ $K = 0.006:0.0446:0.008:0.281:0.10:0.240:0.12:0.201:0.15:0.178:0.020:0.165:0.03:0.149$

水勢調整槽模型実験ニヨル静水頭及溢流水深ノ測定圖表

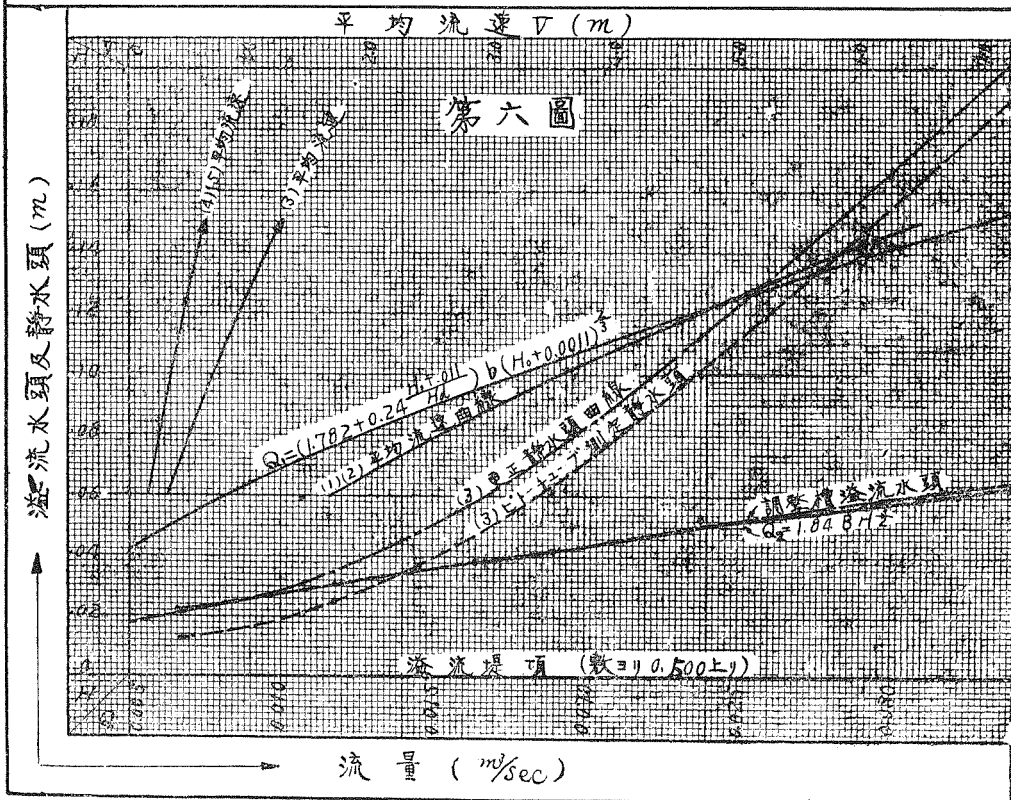


圖 6. 圖表解説。